「ひとりひとりが輝く 楽しい学校」
令和７年度 NO.33

東泉丘小学校だより

令和８年（2026年）３月６日発行

全校集会 3/3

今年度、最後の全校朝会でした。３学期は本当にあっという間です。

３月３日ということで、桃の節句のお話をしました。桃の節句は、もともと子どもの人形遊びが起源とされ、身代わりとなる人形に悪いものを移し、川に流して厄を払う「流しびな」が始まりだそうです。その後、江戸時代に現在のようなひな人形を飾る習慣へと発展していきました。

また桃は、古来より「邪気を払う強い力をもつ」とされており、桃が開花する時期にあわせて３月３日が「桃の節句」となったようです。

右の写真は、３月３日に校内で咲いていた「梅」の花です。桃は一般的に「梅」の後、「桜」の前に開花します。旧暦の３月３日は現在の３月下旬から４月上旬にあたるため、昔はまさに桃が満開の頃にひな祭りをしていたことになります。今では「梅」を眺めながら「桃」のお祝いをするという、少し不思議で、そして贅沢な季節を過ごしているとも言えます。

子どもたちには、悪いものを払い、気持ちよく学年末を迎え、卒業の日を迎えてほしいと伝えました。

ちなみに、近くに「桃山台」という地名がありますが、明治の頃にはこの周辺に５万本もの桃の木が植えられた「桃畑」が広がっていたそうです。その名残から「桃山台」と名付けられたとのことです。満開の桃の花は、きっと見事だったのでしょうね。

６年生を送る会 3/5

１時間目に、今年度も全校で「６年生を送る会」を行いました。

各学年からは、６年生との思い出やお世話になったことへの感謝の気持ちを込めて、合唱や合奏のプレゼントがありました。６年生は、劇や歌で在校生を楽しませてくれました。

「けんこうてちょう」について

ほけんだより３月号でもお伝えしましたが、従来の手書きの「けんこうてちょう」は、次年度より豊中市統一様式の「発育のきろく」へ変更となります。

新しい様式では、計測値の増減や肥満度などが新たに記載されます。

なお、保護者の確認後にご返却いただく必要はありません。一学期と二学期は懇談時にお渡しします。三学期は児童が持ち帰ります。